

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2025年第7週  
(2月10日～2月16日)

- \* 2025年2月19日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- \* 感染症豆知識「感染症予報は可能か」も掲載しています。

令和7年(2025年)2月20日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数 (一類～四類)

2025年7週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		4週	5週	6週	7週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	34	39	35	41	225
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>					
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
鳥インフルエンザ(H7N9)						
三類	コレラ					
	細菌性赤痢			1		1
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1		3	13
	腸チフス				1	1
	パラチフス					
四類	E型肝炎	4	4	1	2	13
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎	1				2
	エキノコックス症					1
	エムポックス					
	黄熱					
	オウム病					
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症					
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>					
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱					
つつが虫病	1	1			3	
デング熱		1	1	3	8	
東部ウマ脳炎						
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		4週	5週	6週	7週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア					2
	野兔病					
	ライム病					
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
レジオネラ症		6	2	4	4	23
レプトスピラ症						
ロッキー山紅斑熱						

2025/2/19集計

( 全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類 )

<二類感染症>

**結核 41件(うち死亡 1件)** 患者 24件(肺結核 15件、その他の結核 5件、肺結核及びその他の結核 4件)、無症状病原体保有者 17件、年齢は5歳未満 1件、20代 6件、30代 2件、40代 1件、50代 8件、60代 7件、70代 5件、80代 8件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 26件、ミャンマー 2件、インドネシア 1件、ネパール 1件、中国 1件、不明 10件であった。

<三類感染症>

**腸管出血性大腸菌感染症 3件** 無症状病原体保有者 3件、血清型・毒素型はO157 VT2 1件、血清型不明VT1・VT2 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は10代 1件、20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 2件であった。

**腸チフス 1件** 患者、年齢は5歳未満、推定感染地は不明、推定感染経路は不明であった。

<四類感染症>

**E型肝炎 2件** 患者 2件、年齢は40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

**デング熱 3件** 患者 3件、病型はデング熱 3件、血清型は不明 3件、年齢は5～9歳 2件、40代 1件、推定感染地はインドネシア 3件であった。

**レジオネラ症 4件(うち死亡 1件)** 患者 4件、病型は肺炎型 4件、年齢は60代 1件、70代 3件、推定感染地は国内 2件、不明 2件、推定感染経路は塵埃感染 1件、不明 3件であった。

<五類感染症>

**アメーバ赤痢 2件** 病型は腸管 2件、年齢は40代 1件、50代 1件、推定感染地はカンボジア又はベトナム又は台湾 1件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、不明 1件であった。

全数把握対象疾患 報告数 (五類)

2025年7週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		4週	5週	6週	7週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	4	1	3	2	12
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2	1	1	1	7
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	2	2	1	18
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1					
	急性脳炎 *2	2	2		3	14
	クリプトスポリジウム症					1
	クロイツフェルト・ヤコブ病					
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	4	1	4	22
	後天性免疫不全症候群	6	7	3	6	29
	ジアルジア症					2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	2		11
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症	11	12	8	9	91
	水痘(入院例に限る)	2			2	10
	先天性風しん症候群					
	梅毒	75	75	65	61	418
	播種性クリプトコックス症	2		1		6
	破傷風			1		1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			3		3
百日咳	20	24	19	31	137	
風しん			1		2	
麻しん	1				1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症						

2025/2/19集計

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

**ウイルス性肝炎 1件** 病型はB型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は接種なしであった。

**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件** 病原菌は*Klebsiella aerogenes*、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**急性脳炎 3件** 病原体はインフルエンザウイルス AH1pdm09 1件、コロナウイルス 1件、病原体不明 1件、年齢は5歳未満 2件、10代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4件(うち死亡 1件)** 血清群はA群 2件、B群 1件、G群 1件、年齢は5～9歳 1件、60代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は不明 3件、その他 1件であった。

**後天性免疫不全症候群 6件** 病型はAIDS 4件、無症候キャリア 2件、性別は男性 6件、AIDS患者の年齢は20代 2件、40代 2件、無症候キャリアの年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 3件、中国 1件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 3件、異性間 1件)、不明 2件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 9件** 血清型は未実施 9件、年齢は5歳未満 1件、30代 2件、70代 2件、80代 4件、推定感染地は国内 5件、不明 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、接触感染 1件、不明 6件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明1回接種済み 1件、接種なし 2件、不明 6件であった。

**水痘(入院例) 2件** 病型は検査診断例 2件、年齢は60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、水痘ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。

**梅毒 61件** 患者 46件(早期顕症梅毒 I 期 21件、早期顕症梅毒 II 期 22件、晩期顕症梅毒 2件、先天梅毒 1件)、無症候梅毒 15件、性別は男性 38件、女性 23件、年齢は5歳未満 1件、10代 3件、20代 22件、30代 14件、40代 11件、50代 10件、推定感染地は国内 51件、韓国 1件、不明 9件、推定感染経路は性的接触 56件(同性間 7件、異性間 44件、性別不明 5件)、母子感染 1件、不明 4件であった。

**百日咳 31件** 年齢は5歳未満 1件、5～9歳 4件、10代 19件、20代 2件、30代 2件、50代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 21件、不明 10件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 18件、3回接種済み 1件、不明 12件であった。

※ 第6週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件、〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2025年7週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2025年				報告医療機関数	定点医療機関数
		4週	5週	6週	7週		
小児科	RSウイルス感染症	161	174	182	202	264	264
		0.61	0.66	0.69	0.77		
	咽頭結膜熱	47	54	37	44		
		0.18	0.21	0.14	0.17		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	610	671	699	522		
		2.32	2.55	2.65	1.98		
	感染性胃腸炎	2,097	2,276	2,643	2,694		
		7.97	8.65	10.01	10.20		
	水痘	92	61	95	65		
		0.35	0.23	0.36	0.25		
	手足口病	21	14	11	12		
		0.08	0.05	0.04	0.05		
	伝染性紅斑	599	470	379	272		
	2.28	1.79	1.44	1.03			
突発性発しん	60	50	51	38			
	0.23	0.19	0.19	0.14			
ヘルパンギーナ	2	2	1				
	0.01	0.01	0.00				
流行性耳下腺炎	11	7	11	15			
	0.04	0.03	0.04	0.06			
川崎病 <sup>*1</sup>	8	8		4			
	0.03	0.03		0.02			
不明発しん症 <sup>*1</sup>	5	6	16	7			
	0.02	0.02	0.06	0.03			
インフルエンザ/COVID-19	インフルエンザ <sup>*2</sup>	2,759	1,586	1,129	685	419	419
		6.60	3.79	2.69	1.63		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	1,464	1,548	1,487	1,371		
		3.50	3.70	3.55	3.27		
眼科	急性出血性結膜炎		1			39	39
			0.03				
	流行性角結膜炎	21	19	20	15		
		0.54	0.49	0.51	0.38		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	1	1			25	25
		0.04	0.04				
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎	14	11	8	9		
		0.56	0.44	0.32	0.36		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>		1	2	1		
		0.04	0.08	0.04			
インフルエンザ入院	39	26	9	14			
	1.56	1.04	0.36	0.56			
COVID-19入院	111	81	62	85			
	4.44	3.24	2.48	3.40			

2025/2/19集計

\*1 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## (今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、1.03で警報レベルが継続しています。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、1.63で今後の動向に注意が必要です。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、10.20で今後の動向に注意が必要です。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2025年7週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	15	1	1	19				2				
6～11か月	26	2	2	117	2			5				1
1歳	82	9	16	294	2	2	16	17				
2歳	39	6	22	231	2	3	24	8				1
3歳	17	2	37	197	2	1	33	4		3	2	1
4歳	11	4	48	212	3	1	44	1		1		
5歳	1	5	67	221	3	1	56	1		1		1
6歳	4	4	47	168	4	1	30			3	2	2
7歳	2	2	62	157	3	1	21			4		
8歳	3	2	42	147	7		18					
9歳	1	3	50	130	12		16			1		
10～14歳	1	1	95	341	22	2	10			2		1
15～19歳			11	80	1		1					
20～29歳		3	22	380	2		3					
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	202	44	522	2,694	65	12	272	38		15	4	7
先週比	20	7	-177	51	-30	1	-107	-13	-1	4	4	-9

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
～5か月	4	8									2
6～11か月	7	25					1				2
1歳	21	42								1	
2歳	20	24									1
3歳	27	19								1	
4歳	35	17					1				
5歳	42	18									
6歳	39	24		1			1				
7歳	33	20									1
8歳	21	30							1		
9歳	26	31									
10～14歳	123	166					2			1	2
15～19歳	54	90					2				
20～29歳	49	101		4			1				2
30～39歳	56	154		2						2	5
40～49歳	59	181		3			1			1	3
50～59歳	39	168		4						2	8
60～69歳	11	108		1						2	9
70～79歳	13	85									11
80歳以上	6	60								4	39
合計	685	1,371		15			9		1	14	85
先週比	-444	-116		-5			1		-1	5	23

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】2025年7週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	3.00		0.33	4.67		0.33		0.33				
中央区			1.33	12.00			0.67					
みなと	1.00	0.33	2.33	9.50			1.00					
新宿区	0.50		1.75	6.25	0.13	0.13	0.13	0.13				0.13
文京	0.25	0.25	0.75	10.75	0.75	0.25	1.75	0.25				
台東	0.50		1.00	23.00	0.75		3.00					
墨田区	0.80		1.40	8.40			0.20	0.20				
江東区	1.33		2.56	16.44	0.33	0.11	1.00	0.22		0.11		
品川区	0.50		1.13	7.38	0.25		1.00	0.13				
目黒区	0.80		0.60	8.20	0.80		0.60	0.20				
大田区	0.92	0.23	1.23	13.77	0.23		0.62	0.38		0.08	0.15	0.08
世田谷	1.00		1.44	7.44	0.13		0.63			0.06		
渋谷区			1.00	3.50	0.25		0.75					
中野区			4.50	19.33			2.83	0.17		0.17		
杉並	2.27	0.45	1.18	13.55	0.09		0.64	0.18		0.09	0.09	0.09
池袋	0.80		1.80	8.20	0.80		0.40					
北区	1.14	0.14	2.71	8.43	0.14		0.29	0.29				
荒川区	2.00	0.25	4.75	19.25	0.75		3.75	0.50				
板橋区		0.40	1.00	9.40	0.20		0.90					
練馬区	0.15	0.54	2.77	9.77	0.23		1.23					
足立	0.69	0.85	1.62	11.62	0.08		0.77	0.31			0.08	
葛飾区	0.25		1.00	9.50	0.25		1.88					
江戸川	1.50	0.25	2.08	10.00	0.08		1.50	0.08				0.17
八王子市	1.36		3.36	15.73	0.09	0.09	1.73	0.18		0.09		
町田市	0.25		1.50	7.38	0.50	0.13	0.25	0.25		0.13		
西多摩			0.13	4.13	0.13	0.63	0.63					
南多摩	0.33		1.11	5.67	0.11		0.67	0.11		0.11		
多摩立川	0.36		2.50	4.64	0.29		0.64			0.07		
多摩府中	0.43	0.05	3.24	9.52	0.57	0.05	1.10	0.05		0.29		0.10
多摩小平	1.20	0.33	3.13	13.60	0.13		1.80	0.47				
島しょ				5.00								
東京都	0.77	0.17	1.98	10.20	0.25	0.05	1.03	0.14		0.06	0.02	0.03

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア肺 炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	0.75	3.75								0.50	0.50
中央区	0.80	1.80									
みなど	1.44	2.11								2.00	7.00
新宿区	1.42	1.50		0.50						0.50	1.50
文京	1.29	2.57		1.00							2.00
台東	1.86	1.43									
墨田区	1.25	3.63							1.00		3.00
江東区	1.57	2.29									
品川区	1.25	1.67									
目黒区	0.75	2.63									
大田区	1.33	2.67					2.00				
世田谷	1.16	3.12		0.50			0.50				4.00
渋谷区	1.86	1.71		3.00							10.00
中野区	1.60	3.90									
杉並	2.24	1.82					1.00			0.50	3.50
池袋	2.25	3.63		3.00							
北区	3.36	4.00									
荒川区	2.29	4.71									
板橋区	1.13	2.75								2.00	4.00
練馬区	1.81	2.38		0.50							
足立	1.20	6.15									
葛飾区	1.38	2.15					1.00			1.00	4.00
江戸川	1.47	3.63		2.00							
八王子市	1.78	4.11								1.00	8.00
町田市	2.15	2.46									
西多摩	1.07	4.07					1.00				2.00
南多摩	0.86	4.21		1.00							
多摩立川	1.57	3.86									1.00
多摩府中	3.15	3.91					0.33			1.33	4.00
多摩小平	1.22	4.74					0.50			0.50	6.00
島しょ		1.50									1.00

東京都	1.63	3.27		0.38			0.36		0.04	0.56	3.40
-----	------	------	--	------	--	--	------	--	------	------	------

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。



定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2025年7週

	小児科											
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	9		1	14		1		1				
中央区			4	36			2					
みなと	6	2	14	57			6					
新宿区	4		14	50	1	1	1	1				1
文京	1	1	3	43	3	1	7	1				
台東	2		4	92	3		12					
墨田区	4		7	42			1	1				
江東区	12		23	148	3	1	9	2		1		
品川区	4		9	59	2		8	1				
目黒区	4		3	41	4		3	1				
大田区	12	3	16	179	3		8	5		1	2	1
世田谷	16		23	119	2		10			1		
渋谷区			4	14	1		3					
中野区			27	116			17	1		1		
杉並	25	5	13	149	1		7	2		1	1	1
池袋	4		9	41	4		2					
北区	8	1	19	59	1		2	2				
荒川区	8	1	19	77	3		15	2				
板橋区		4	10	94	2		9					
練馬区	2	7	36	127	3		16					
足立	9	11	21	151	1		10	4			1	
葛飾区	2		8	76	2		15					
江戸川	18	3	25	120	1		18	1				2
八王子市	15		37	173	1	1	19	2		1		
町田市	2		12	59	4	1	2	2		1		
西多摩			1	33	1	5	5					
南多摩	3		10	51	1		6	1		1		
多摩立川	5		35	65	4		9			1		
多摩府中	9	1	68	200	12	1	23	1		6		2
多摩小平	18	5	47	204	2		27	7				
島しょ				5								
東京都合計	202	44	522	2,694	65	12	272	38		15	4	7

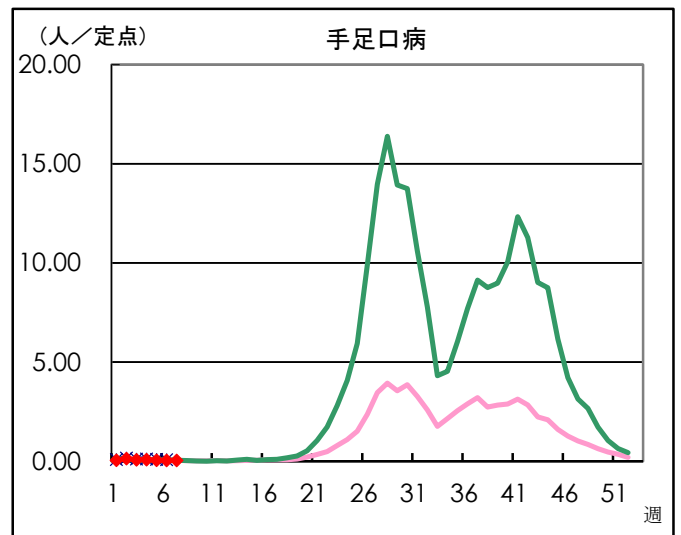
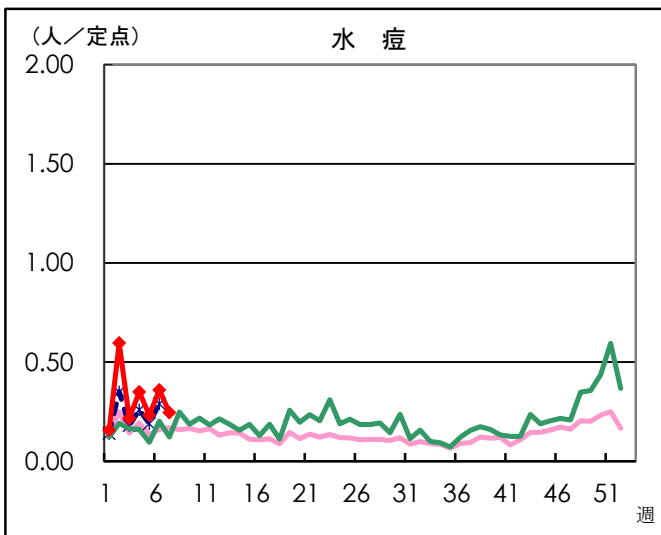
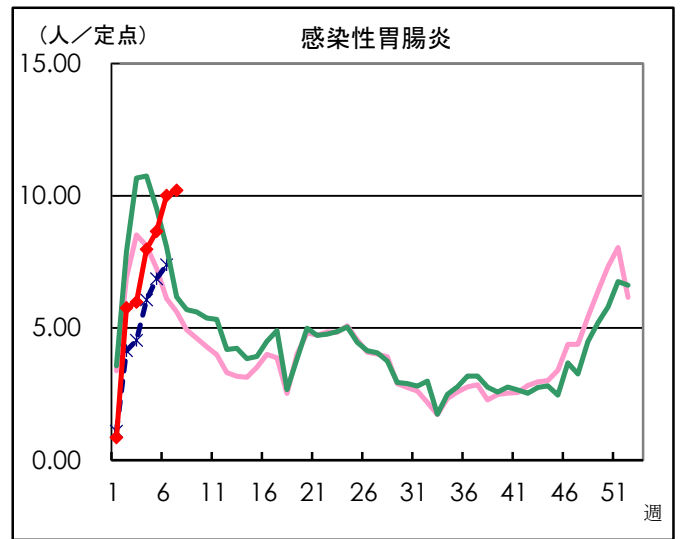
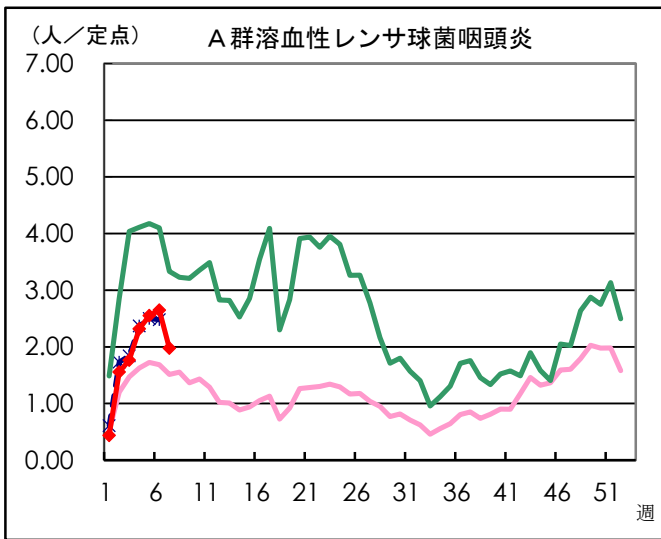
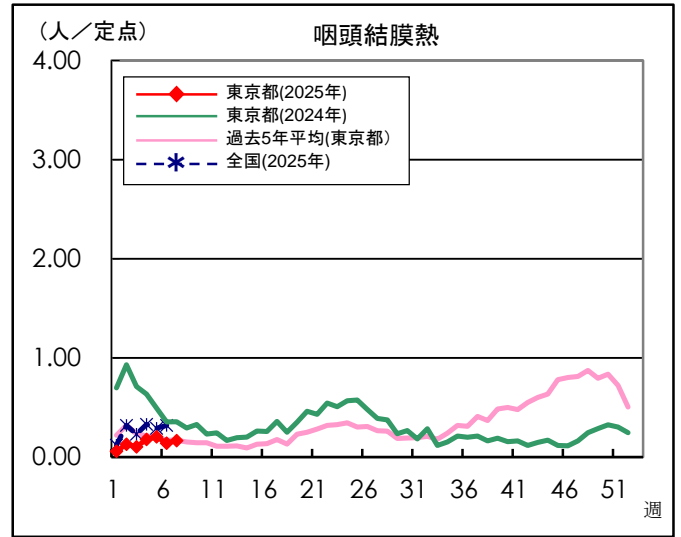
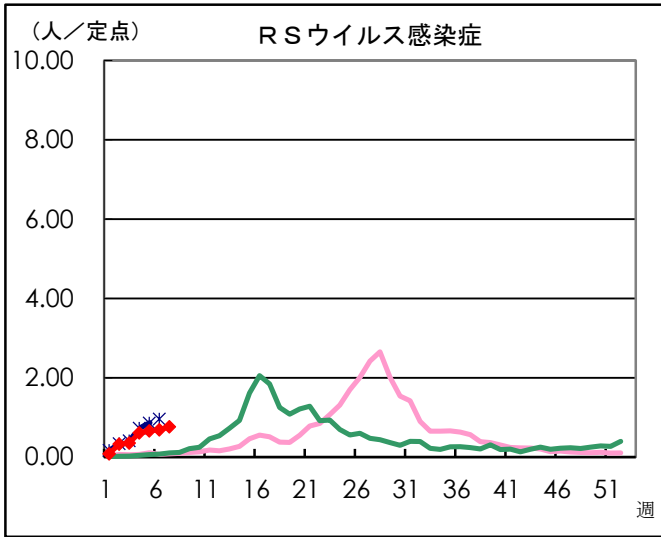
	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	3	15								1	1
中央区	4	9									
みなと	13	19								2	7
新宿区	17	18		1						1	3
文京	9	18		1							2
台東	13	10									
墨田区	10	29						1			3
江東区	22	32									
品川区	15	20									
目黒区	6	21									
大田区	28	56					2				
世田谷	29	78		1			1				8
渋谷区	13	12		3							10
中野区	16	39									
杉並	38	31					2			1	7
池袋	18	29		3							
北区	37	44									
荒川区	16	33									
板橋区	18	44								2	4
練馬区	38	50		1							
足立	24	123									
葛飾区	18	28					1			1	4
江戸川	28	69		4							
八王子市	32	74								1	8
町田市	28	32									
西多摩	15	57					1				2
南多摩	12	59		1							
多摩立川	33	81									1
多摩府中	104	129					1			4	12
多摩小平	28	109					1			1	12
島しょ		3									1

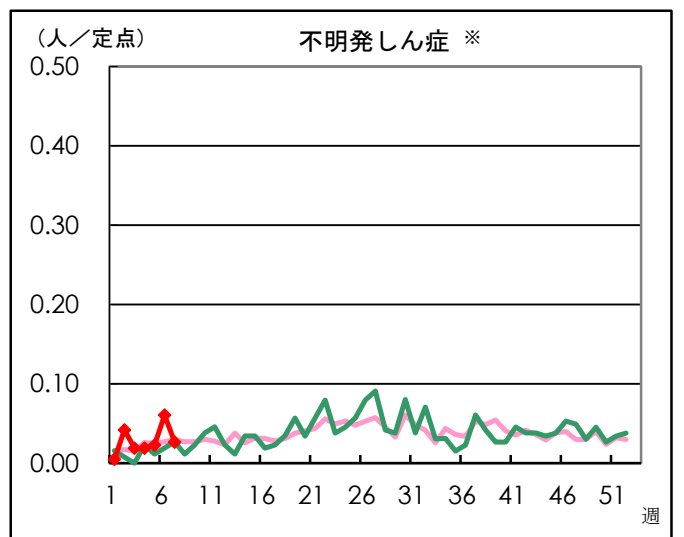
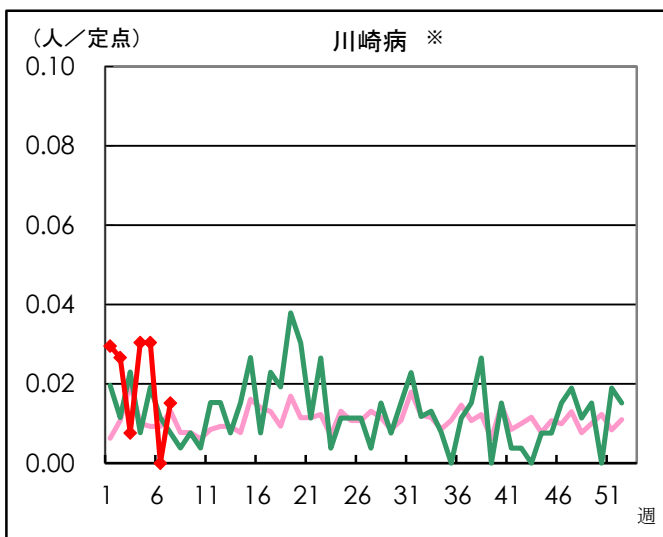
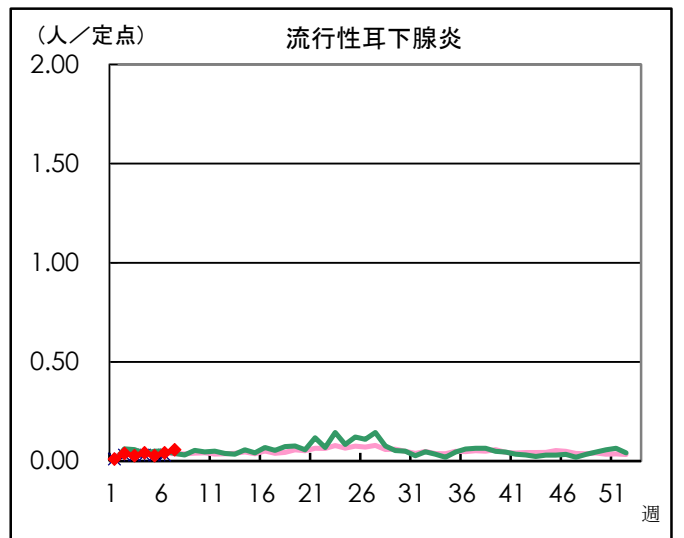
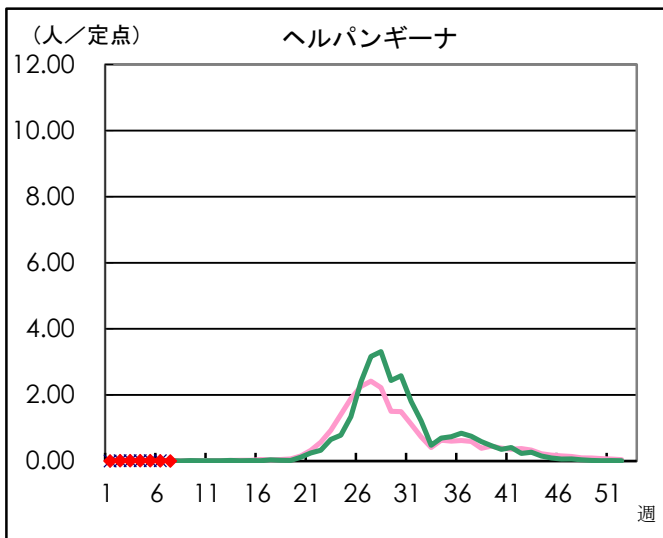
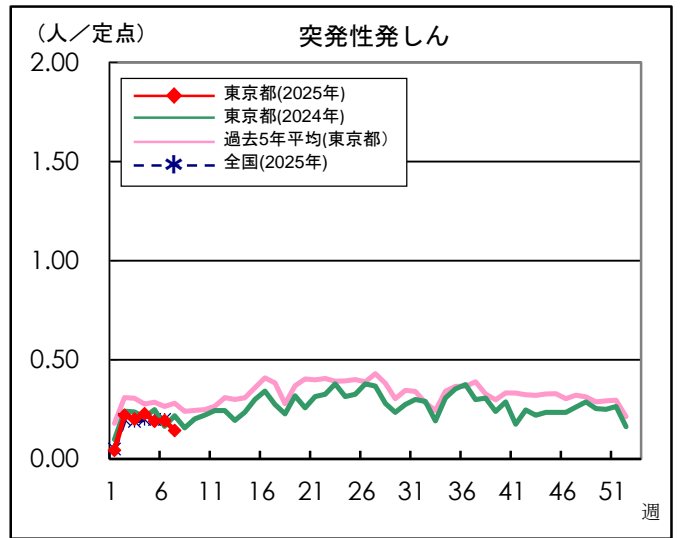
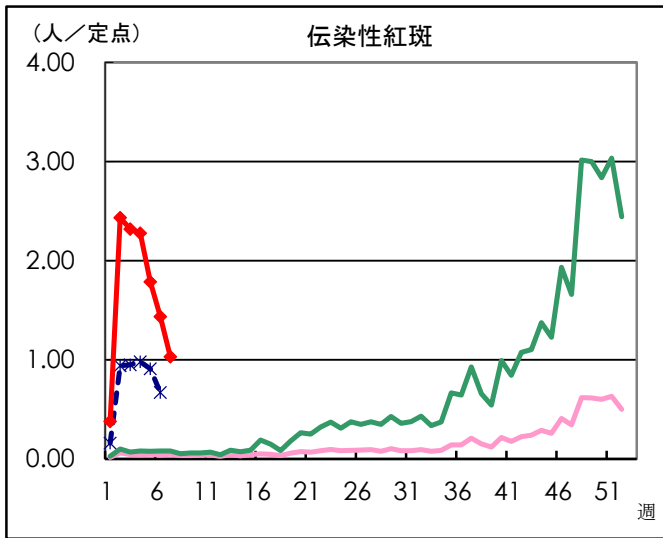
東京都合計	685	1,371		15			9		1	14	85
-------	-----	-------	--	----	--	--	---	--	---	----	----

注: 表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2025年7週 現在)

## ◆小児科定点

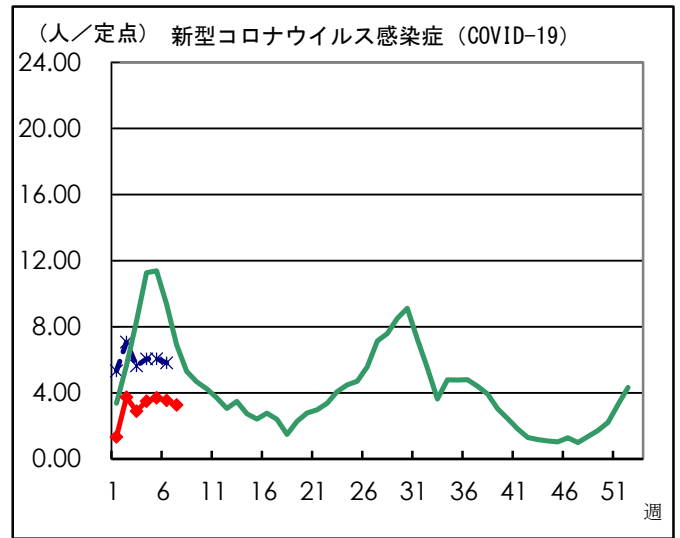
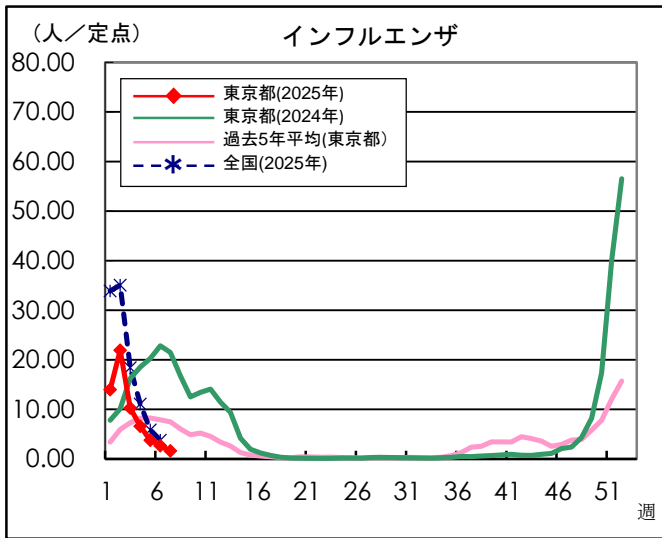




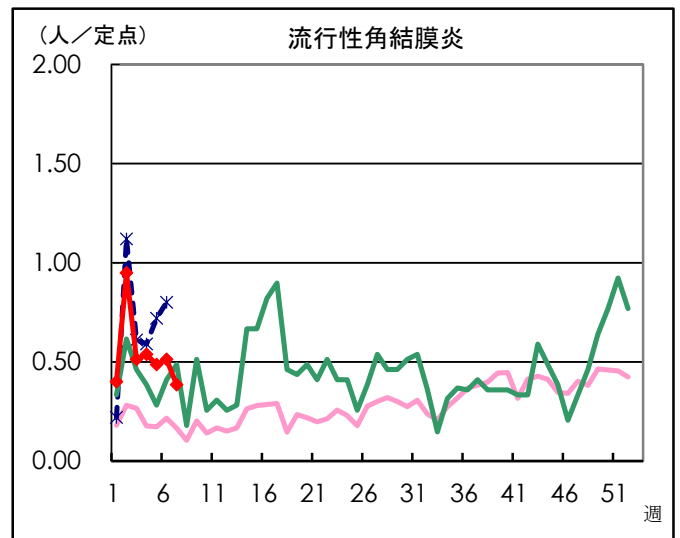
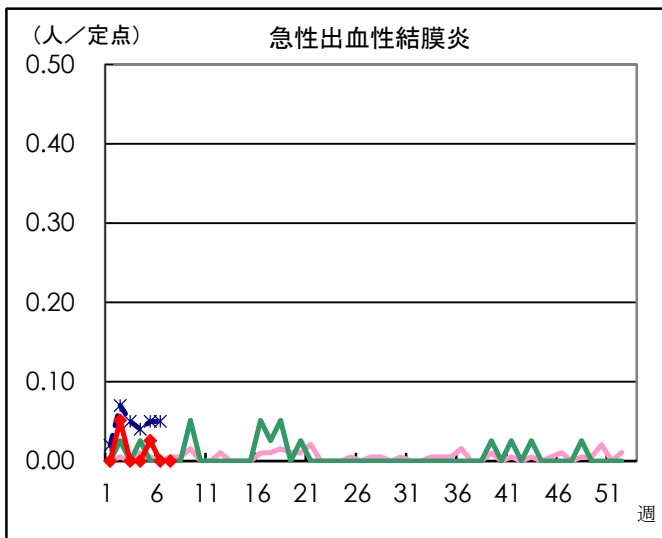
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

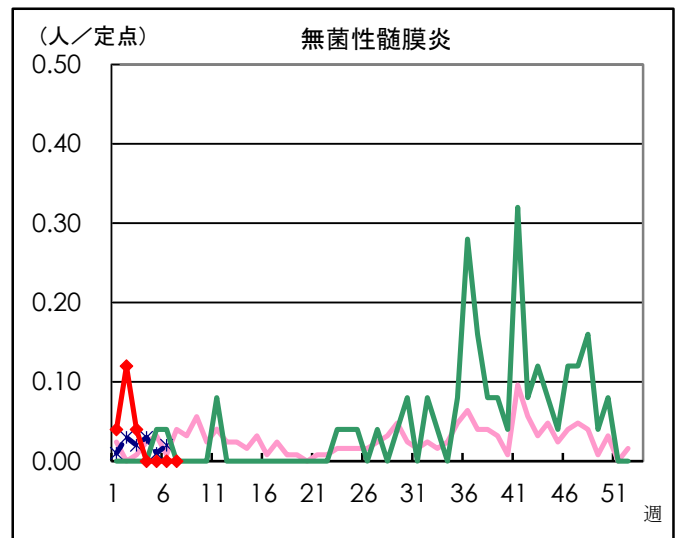
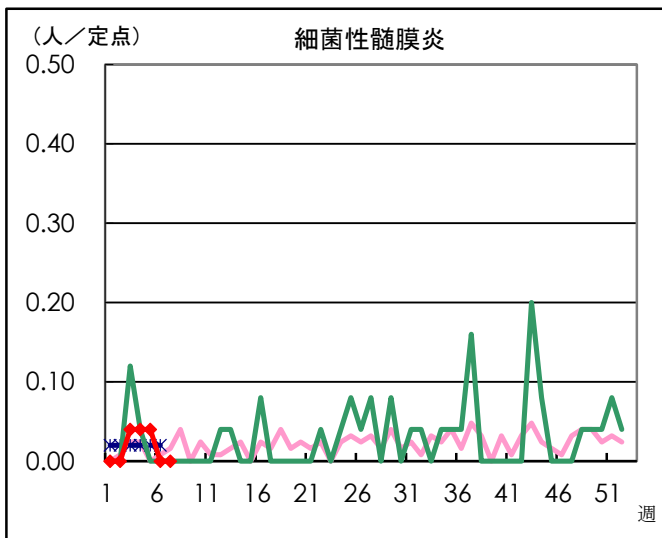
◆インフルエンザ/COVID-19定点



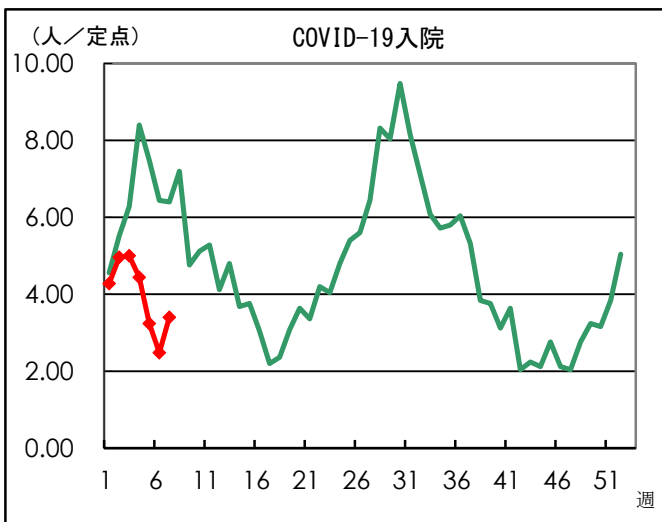
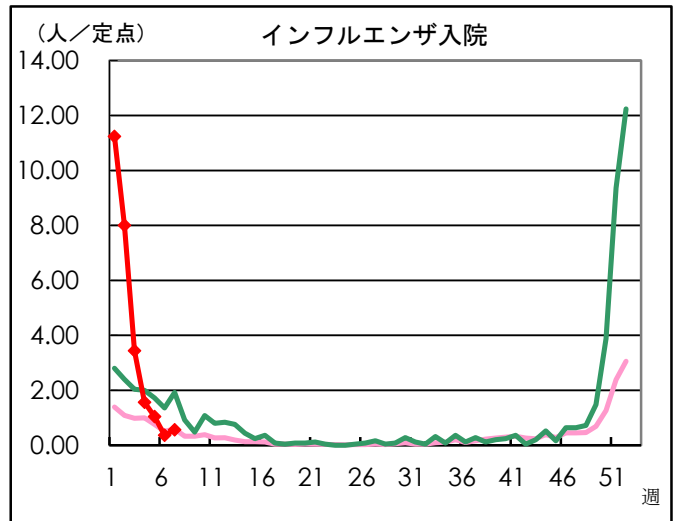
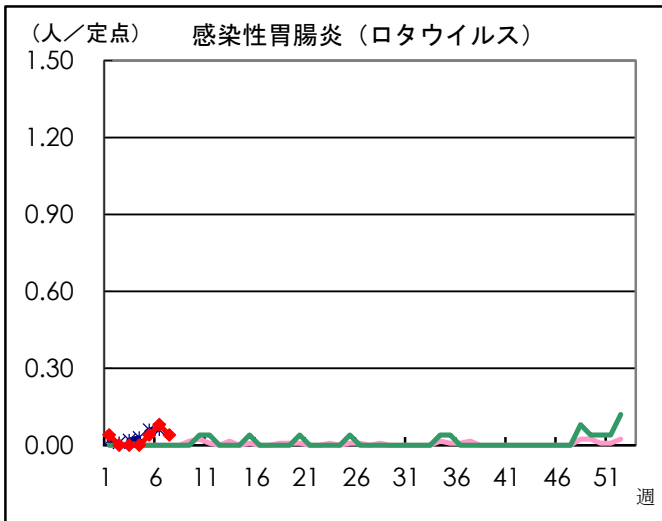
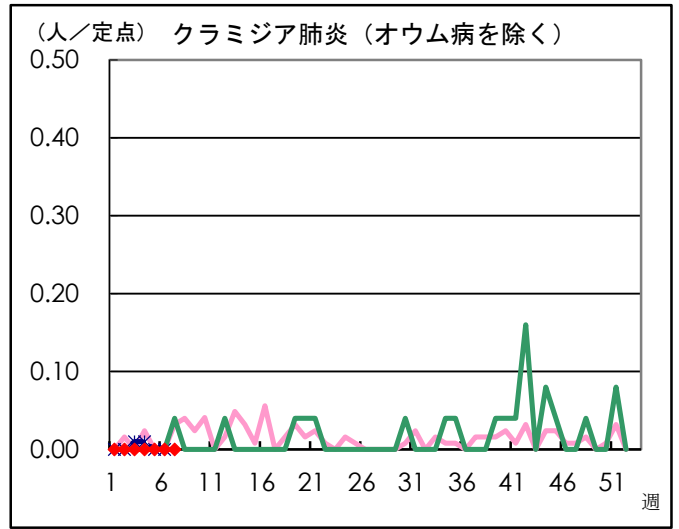
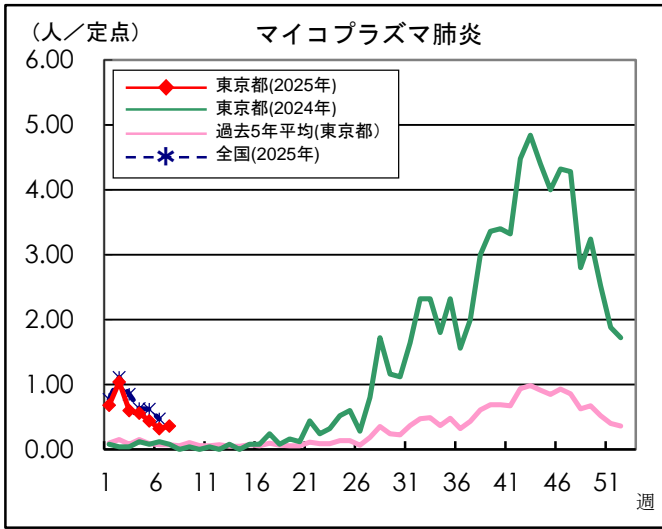
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
6/18	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
9/27	流行性耳下腺炎	11	咽頭拭い液	EBウイルス
1/25	インフルエンザ	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型 <sup>※</sup> アデノウイルス1型
1/25	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
1/27	インフルエンザ	13	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型Victoria 系統 <sup>※</sup> アデノウイルス2型
1/27	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
1/28	インフルエンザ様疾患	6	咽頭拭い液	ライノウイルス アデノウイルス41型
1/28	不明発しん症	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2025年5週	13	3	1	
2024-2025年 シーズン累計 <sup>*</sup>	211	29	7	

\* 2024-2025年シーズンの開始は第36週(2024年9月2日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2024年			2025年				
	50週	51週	52週	01週	02週	03週	04週	05週
アデノウイルス	2	3	2		1	1	1	3
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	8	5	3		1	1	1	1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹しんウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1		1					3
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)			1					
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	5	2	2		2		2	
RSウイルス							1	
ノロウイルス		1	1					
ロタウイルス			1					
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09	20	23	34		19	15	15	13
インフルエンザウイルスAH3亜型	2	4	4		5	1	3	3
インフルエンザウイルスB型Victoria系統	1		1				2	1
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2		1	1		4	1		
その他のウイルス			2					
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1							
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2					
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2024年50週～2025年05週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	1	1	5	4			12	4		2		14	158	42	1	9		1		
アデノウイルス		1											6	1		5				
コクサッキーウイルスA群																				
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス																				
ライノウイルス												2	12	6						
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								1					4							
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)												1								
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19							8													
RSウイルス	1																			
ノロウイルス				2																
ロタウイルス				1																
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													124	15						
インフルエンザウイルスAH3亜型													20	2						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													4	1						
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
SARS-CoV-2													4	3						
その他のウイルス													2							
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型																				
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型																				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																				
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

## <感染症豆知識>

### 感染症予報は可能か

COVID-19 パンデミック後、さまざまな感染症が従来の流行の季節や流行規模から外れ複雑な流行状況を呈している。ここ数年の流行状況について、その要因を感染症対策の3原則を考慮しながら解析すると、一見複雑に見える感染症の発生にもある程度の法則が導き出せる。

感染症対策の3原則とは①病原体の排除（消毒・殺菌） ②感染経路の遮断 ③宿主の抵抗力の向上である。①②に関しては、手洗い、マスク、通風換気、3密を避けるなどの感染症対策の規制と緩和が大きく関与する。③は栄養、睡眠が基本であるが、感染症の罹患歴、ワクチン接種率の2因子が強く関与する。また複数のウイルス感染が同時におきる場合には、干渉作用も流行に影響を及ぼしていると考えられる。またマイコプラズマのマクロライド耐性変異の存在など、治療抵抗性が影響する場合もある。

小児の感染症流行状況は、COVID-19 パンデミック中の徹底した感染対策により感染症の免疫の貯金ができていないために、いったん流行が始まると大きな流行になる傾向がある。またインバウンドの増加により、海外で流行している感染症についても考慮しなければならない。コロナ禍以降の約2年間で小児ではRS、ヘルパンギーナ、アデノ（咽頭結膜熱）、インフルエンザB型、手足口病、マイコプラズマ、伝染性紅斑の順に季節感なく流行の波が訪れた。

これらの背景を考慮しながら流行要因を分析することで、感染症の流行予想がある程度可能ではないかと考える。特定の感染症の大きな流行により、検査キットや薬剤の不足が問題になる現在、中長期の感染症予報の必要性が高まっている。

（文責 クリニックばんびいに（小児科医会） 時田章史）